

問い合わせ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

監理課専門官 霜鳥 史郎

電話 022-363-0111 (内線2511)



平成25年8月21日

第二管区海上保安本部

世界8カ国10名のJICA研修員が 東日本大震災への対応事例を学びます

水路測量技術等の習得を目的として来日しているJICA研修員が、8月29日、第二管区海上保安本部に来訪し、我が国の経験を各国の災害対応に役立てるため、東日本大震災後の被災港湾の復興のために海上保安庁が行った対応事例を学びます。

海上保安庁海洋情報部では、昭和46年度からJICAと協力し、開発途上国の水路測量業務を担当する職員を対象として、海図作成のための水路測量技術、津波防災、海洋環境保護に関する知識を習得させ、これら諸国の水路測量技術の向上を図ることを目的とした集団研修を実施しており、これまでに40カ国から約400名を受け入れています。

今年度は「航行安全・防災・環境保全施策立案のための海洋情報整備（水路測量国際認定B級）」コースとして、7月から12月までの約6カ月間の日程で、8カ国10名が本研修に参加し、水路測量や海図作成等に関する講義・実習を行っています。

今般、この研修の一環として、8月28日から8月30日までの日程で、JICA研修員が被災港湾の状況や当本部における震災への対応事例を学ぶため来訪します。

第二管区海上保安本部での本部長表敬及び講義（東日本大震災への海上保安庁の対応事例の紹介）の状況の取材をお受けしますので、取材を希望される社は、8月26日（月）17時までに、上記問い合わせ先まで、電話又はFAX（次頁申し込み用紙）により、申し込み下さい。

今年度のJICA集団研修参加国及び参加者数（8カ国10名）

カンボジア（2名）	ソロモン（1名）	ミャンマー（1名）	ベトナム（1名）
トンガ（1名）	イラク（1名）	マレーシア（1名）	インドネシア（2名）

宮城県における主な研修内容

- 8月28日（水）仙台塩釜港周辺の被災、復興状況視察
- 8月29日（木）東北大学地震・噴火予知研究観測センター視察
第二管区海上保安本部における事例紹介
- 8月30日（金）石巻港周辺の被災、復興状況視察

第二管区海上保安本部での本部長表敬及び講義の予定

- 8月29日（木）14:20～14:25 第二管区海上保安本部長への表敬
14:35～15:35 第二管区海上保安本部における事例紹介
- ・研修日程の時間は予定であり、多少前後する場合があります。
- ・大幅な変更が見込まれる場合は、お申し込みをされた方に連絡いたします。

※被災港湾の復興状況視察時の取材につきましては、問い合わせ先あてにご相談下さい。

〔取材申し込み用紙〕

申し込み先

第二管区海上保安本部 海洋情報部 担当 霜鳥(しもとり)
FAX 022-365-1341
電話 022-363-0111(内2511)

件名： JICA 集団研修の取材申し込み

会社名

氏名

電話番号

FAX番号
